

国際フロンティア産業展 神戸で

神戸製鋼、復興の歩み展示

西日本最大級の産業総合展示会「国際フロンティア産業メッセ2025」がきょう5日まで神戸国際展示場で開催している。鉄鋼関連企業も多数出展し、各社の技術や製品をPRしている。

神戸製鋼所をはじめコベルコグループは、今年創業120周年、阪神淡路大震災から30

年の節目を迎え、地域や社会と共に歩んできたこれまでの歴史を展示。震災では神戸本社や製鉄所が大きな被害を受けた中、復興に尽力し、震災をきっかけに発足したラグビー部による「くろがね応援隊」の結成や電力事業などを紹介している。

その他にも、コベルコ建機はCO₂排出を

ゼロにできる「水素燃料電池シヨベル」や、神鋼環境ソリューションは国内トップシェアを誇る水電解式高純度水素発生装置「HHOG」など、多様な技術を表示している。

ヘルスケア関連サービスを紹介

エア・ウォーター

エア・ウォーターグループは、カーボンニュートラルとヘルスケア



神戸製鋼所のブース①、エア・ウォーターのブース

ア関連の製品・サービスを紹介。同社が代理店を務める生ごみ処理機「POITO（ポイト）」や、介護シャワー入浴装置「美浴（びあみ）」を初出展している。さらに来年から上市予定の極細内視鏡を実物を用いて紹介しているほか、体内糖化度を測定する「AGESセンサー」の体験コーナーも設置している。

リサイクル業者向けツールPR

ONE LIVE

金属リサイクル業者向けのデジタルコンテンツの運営などを手掛けるONE LIVE（本社＝兵庫県尼崎市、土肥容高社長）は、近日提供を開始するクラウド型の販売在庫管理システム「Metal! Live Stock

ONE LIVEのブース



（メタライブストック）を全面的にアピールした。在庫の見える化や業務の効率化などに貢献する。そのほか営業支援ツール「メタライブ」やレアメタルや非鉄スクラップ事業を紹介した。

土肥社長は「今回、兵庫県信用保証協会の推薦を受けて初出展した。スクラップ業界だけでなく幅広く当社の取り組みを知ってもらいたい」と話した。